

# 「人口減少社会における公共施設について考える」 柳原地区 市民との懇談会を開催しました。

## 回 覧

1月27日(日)柳原支所で、協議員の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」と題した懇談会を開催しました。

本市では、高度経済成長期にいわゆるハコモノと呼ばれる施設や、道路、下水道、橋といったインフラが集中的に整備され、一斉に老朽化が進んでいます。そこで平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定し、将来世代に負担を先送りすることなく、**より良い資産を次世代に引き継いでいけるよう**、公共施設マネジメントに取り組んでいます。

その一環として、市内32地区の皆さまに、公共施設マネジメントについて理解を深めていただき、市の取組に対するご意見をお聴きするため、地区別のワークショップや懇談会を開催しており、柳原地区では懇談会形式で開催させていただいたものです。開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました！



当日は、事前にご協力いただきましたアンケートの結果(次頁以降に一部内容を掲載)や、長野市の公共施設の現状、マネジメントの取組みなどを市職員から説明しました。当日の説明資料を長野市公式ホームページへ掲載しますので、ぜひご覧ください。

説明後の意見交換の時間では、公共施設に関する様々なご意見をいただきました(その一部をご紹介します)。



◆公共の建物は、学校や公民館、支所などいろいろな所属にわたることが多いが、縦割り行政の市役所で連携は大丈夫なのか？

⇒施設を担当する所属はそれぞれになりますが、複合化など横断的な課題に対応するため、庁内での連絡会議を設置し、部局長が揃う会議などで情報共有を図っています。

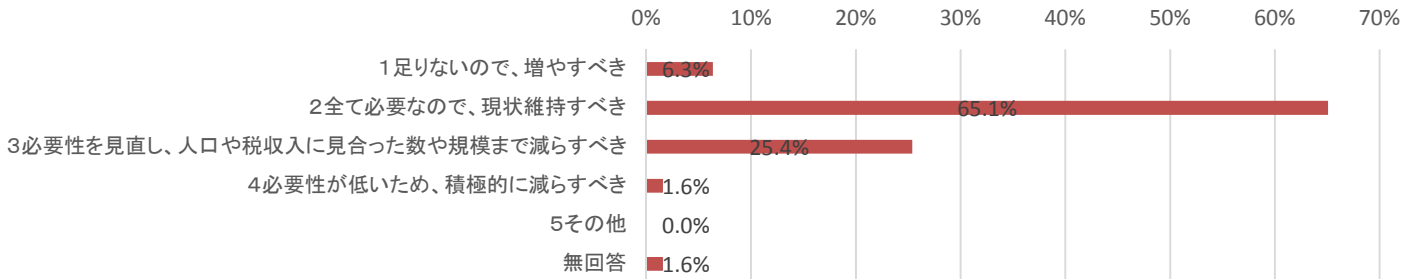
◆「スパイラル」は、少しでも維持費用がかかっているのであればやめるべきでは？

⇒「スパイラル」は、昨年度まで約2億円(市の費用負担約1億円)の維持費用がかかっていました。現在は特に費用負担の大きい製氷作業を休止し、夏季はナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として活用しています。※現在の維持費用は、主に管理費など年間約1,900万円(市の費用負担約1,400万円)です。

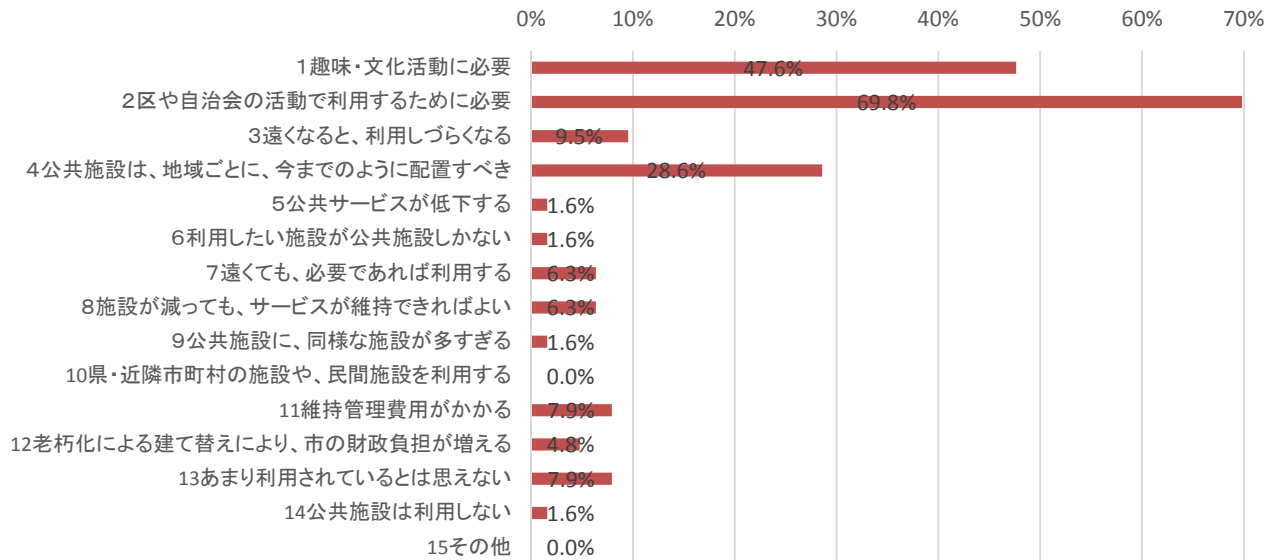
63名の協議員の皆さまからご回答いただきました！

## 柳原地区事前アンケート結果の一部をご紹介します

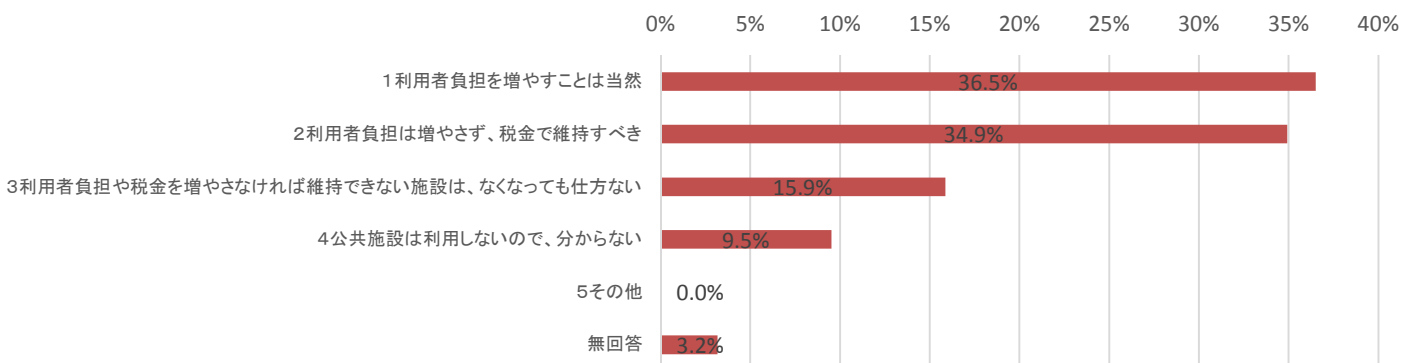
### 柳原地区の公共施設についてお聞きします



### 上記の回答を選んだ理由として、あなたの考えに近いものはどれですか

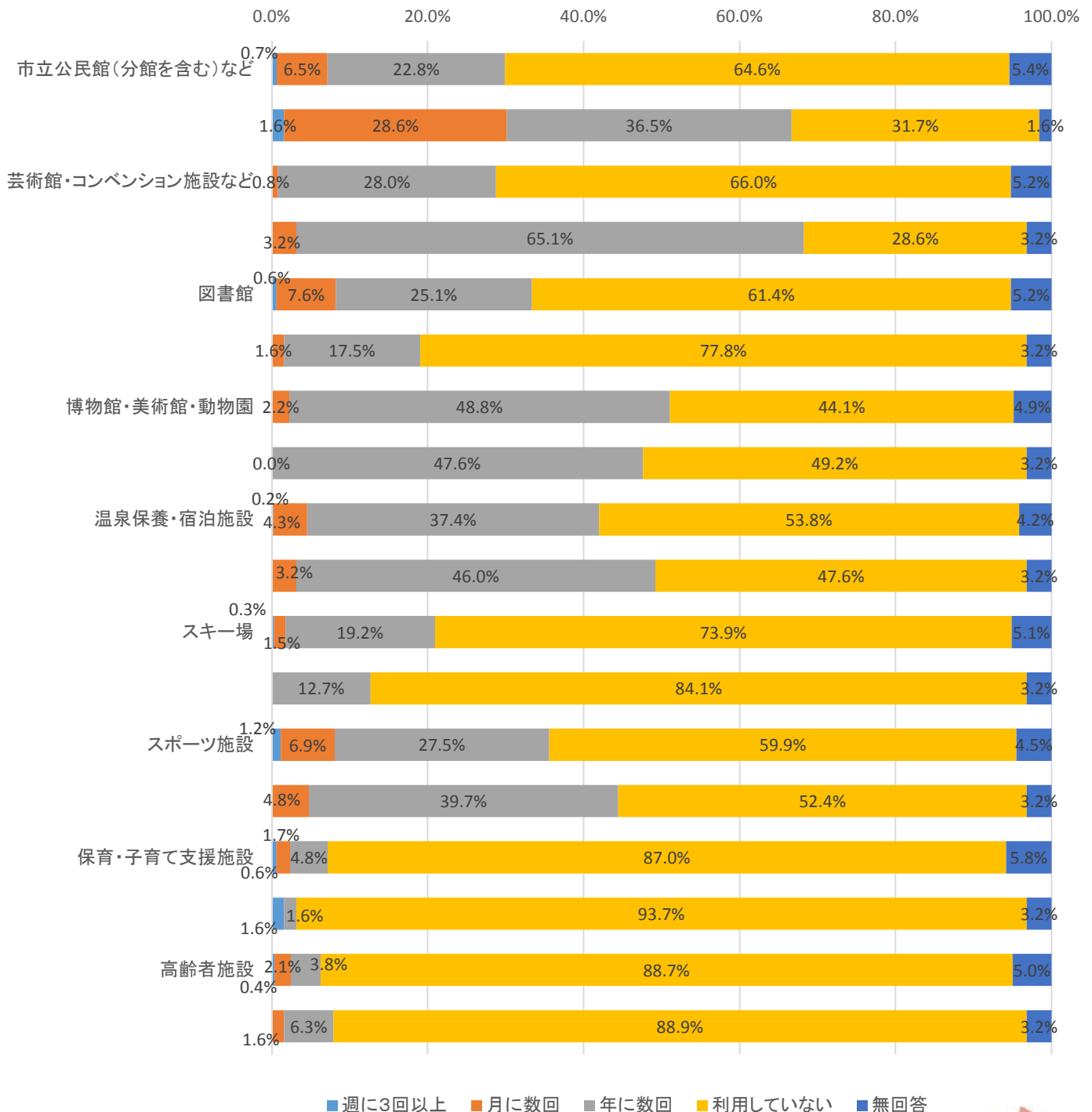


公共施設のサービスの提供に要する経費は、主に施設利用者の負担金と税金で賄っています。公共施設の利用者負担の見直しを検討することについて、あなたはどのように思われますか。



# 柳原地区事前アンケートを長野市全域の調査と比べました ～「平成30年度まちづくりアンケート」との比較より～

あなたは、長野市の公共施設をどの程度利用していますか。



上段：H30まちづくりアンケート  
下段：柳原地区事前アンケート

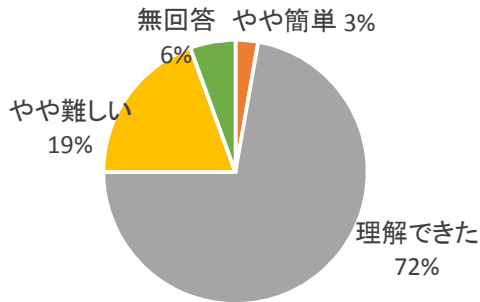
市全体のアンケートと比べると、公民館の  
利用率がとても高いですね！



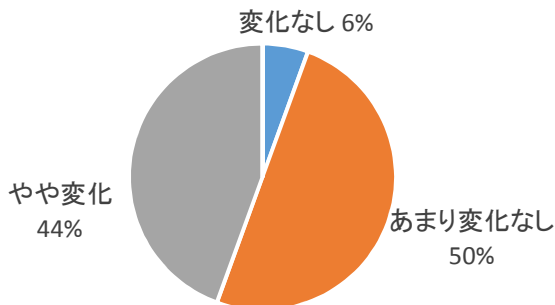
## 懇談会終了後

# 参加者アンケートの結果をご紹介します

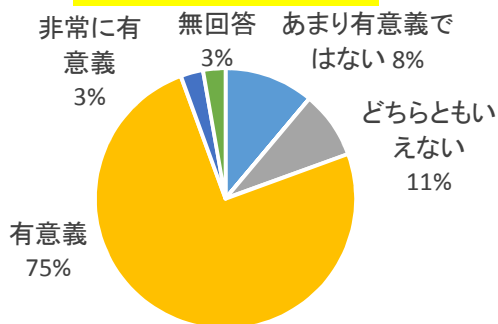
### 説明内容はいかがでしたか？



### 懇談会に参加し、公共施設に対する考え方は変わりましたか？



### 懇談会全体の内容はいかがでしたか？



### 自由記載欄等より

- ◆人口予想、財源等を考えると公共施設の縮減は必要だと思う。
- ◆施設の老朽化について考えていきたい。
- ◆地区に何でも施設があれば良いと思っていたが、今後は複合的な施設が必要になってくるのではないかと考えるようになった。
- ◆公共施設が年数がたつて古くなっていく。また、人口減少少子化ということで、維持してくのが難しいことが良くわかった。
- ◆必要最小限の施設で良い。将来にツケを残さない。
- ◆施設の縮減と適正配置が必要であると感じたとともに、長寿命化を進めて行く事も大切であると思った。
- ◆マネジメントの必要性については当然に理解できる。だが、各論になると多数の意見が出て来るのが問題であろう。
- ◆再度、公共施設について考える時間を持つようにしたい。
- ◆公共施設の「必要性」は難しい問題だと思う。利用者・利用率だけでは計れない。少数でもムダが多く見えても他で代替がきかないものは残さないといけないと考える。
- ◆限られた財源をどう有効に使うか。後年度負担はやめる（若者に迷惑は掛けないため）とすれば、利用者はあっても利用率が低い施設については廃止すべき。長野市として何を最優先の目標にするか、ビジョンを明確にすべきではないか。

長野市では、個々の公共施設の維持保全や更新、あるいは統廃合などの具体的な対応方針を定めた、施設分野ごとの「個別施設計画」を2020年度までに策定する予定です。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく右記までお寄せください。  
出前講座もやっています！

#### 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

柳原支所

電話：296-8585